

道

2024・11・27

通信 No 1808

鳳
鳴
四
十
八
滝



◆本日の練習 6時30分～ 岡野中学 小坂先生・二宮先生

ぶどう色のショール あなたに会ったとき 鶴 百万本のバラ その他の楽譜全て持参

■11月29日(金) バラライカ・アンサンブルポーレ演奏会 2024 演奏会に参加します

《参集》 11時20分 金沢公会堂 終演後打ち上げ

◆12月4日(水)の練習 6時30分～ 岡野中学音楽室 清水先生 小坂先生

心さわぐ青春のうた ボルガの舟曳歌 ドナウ河のさざ波 他全ての楽譜

《バラライカアンサンブル・ポーレと共に22年》

来年56周年になる合唱団「道」の定期演奏会ですが、「道」の演奏会には、ロシア民族楽器が使われています。40周年記念誌をひもどいてみました。

『北川つとむ氏率いる東京バラライカアンサンブルとは、1979年の10周年記念演奏会からご一緒、2001年の32周年までお願いしています。2002年の33周年から横浜バラライカアンサンブルに交代し、2004年の35周年からバラライカ・アンサンブル・ポーレと改称、以来、ポーレとの共演をしています。』

グースリ(ロシアの弦楽器) ~ウィキペディアから~

グースリという名前は「羽音」という言葉からきている。

グースリの柔らかな音は小川のせせらぎや鳥のさえずりに似ている。

使用された時代と共鳴器の形によって、翼型、兜型、箱形の3つに分けられます。

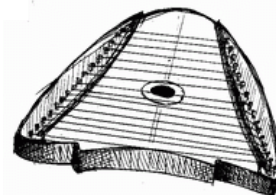
翼型グースリ



最も歴史の古い型で、13世紀の現物が[ノヴゴロド](#)で見られている。弦の数は5-14本。指先で弾いて演奏する。

兜型グースリ

14-15世紀に翼型の改良版として登場した。弦の数は11-30本に増えている。



17世紀初めに都市部で使用されたもので、弦は55-66本、皮を固めた義甲あるいは指先で演奏する。1914年には、箱形グースリに1オクターヴの鍵盤を付けた「鍵盤(Klavishnye)グースリ」がN.P.フォミンによって開発された。単音や和音を鍵盤で押し、該当するオクターヴ部分の弦を弾いて音を出す。演奏に効果的である。



箱型(鍵盤)グースリ

12月4日(水) 2時30分～ 運営委員会 県サポセンター